

令和2年度 卒業式

令和3年3月2日(火)に、全日制普通科第72期、理数科第51期の卒業証書授与式が行われました。新型コロナウイルス感染症対策のため、卒業生・保護者・教職員だけの卒業式でした。コロナ禍で大変な令和2年度をたくましく引っ張ってくれた274名の卒業生の堂々とした姿がとても印象的でした。274名の卒業生のみなさんの活躍を、在校生・教職員一同期待しております。



会場の様子



卒業証書授与の様子



常松校長の式辞



在校生送辞



卒業生答辞

理数科2年生課題研究発表会を開催しました

2021年2月9日(火)、島根大学から4名の先生方を審査員としてお招きし、理数科2年生が約半年をかけて取り組んできた課題研究の成果発表会を開催しました。

どの発表も熱心に取り組んだことがうかがえる内容で、参加した保護者・教員・理数科2年生だけでなく1年生からも活発な質疑応答がかわされ、大変盛り上がった発表会となりました。

審査の結果、物理1班と化学3班が3月9日(火)に浜田高校で開催される島根県高等学校理数科課題研究発表大会に本校代表として参加することになりました。



物理1班 「ものを水に落とした時の音の高さは何によって決まるのか？」



化学3班 「ダニエル電池の充電」

普通科1・2年生課題研究発表会を開催しました

午前：1年生 中間発表会

1学期より身のまわりで起きている出来事や自分の関心事から発見した気づきなどを掘り下げて、自分自身の価値観を広げていけるような活動を行ってきました。今回の中間発表では、クラスを解体してチームを組み、それぞれのチームが「未来をよりよくするための課題解決」について、今自分たちが考えていることをまとめ、紙芝居方式(KP法)で、発表しました。



発表の後に、島根大学教育学部教育学研究科の中村怜詞先生より「探究活動のススメ」と題して、講演をしていただきました。

チームで話し合う中で、ある意見が正しいか間違いかということ話し合うのではなく、それが本質的であるかやそのアイデアを深めるために考える過程で自分たちが「わくわく」することが大切なことや、自分がつけたい力(たとえばコミュニケーション能力)をつけるためと思って課題研究に臨むことが大切であり、そのために、準備→実効→内省(リフレクション)のサイクルが必要だということをお話いただき、来年度の課題研究への意欲を高める心が動いた時間となりました。



午後：2年生 最終発表会

1年次最後に個人で提案したことの中から、「自分の未来・地域の未来をよりよくするプロジェクト」として、各グループでテーマを再設定し、9月と11月にフィールドワークにでかけ、協働して取り組んできた成果をポスター形式で発表しました。

島根大学教育学部教育学研究科の中村怜詞先生に、生徒の発表を見ていただき、講評・フィードバックをいただきました。プレゼンの内容に説得力がある、たとえば、理由がきちんと説明されている、仮説を立てて検証されているような班は良かった。質問などで聴衆を巻き込んでいるような、訴えかけるようなプレゼンだと、聴衆は納得するし、応援したくなるものだと言われました。また、課題研究はそもそも何のためにするの?自分にとって課題研究の価値って何?本気または夢中でやった?と問いかけられ、2年生野村萌絵さんが、「自分にとっての課題研究は、将来自分で考えて行動するための力をつけることができました。」と答えていました。



第24回全日本高等学校書道教育研究会 中国地区高等学校生徒書道展

島根県知事賞受賞

2年 岩見 涼 さん

九成宮禮泉銘 臨書



転任者ごあいさつ

今年度を終えるにあたり、紹介する教職員が異動することになりました。生徒保護者の皆様に一言ずつ挨拶を申し上げます。

教頭 田村 康雄 先生

10年ぶり2度目の松江北高校勤務でした。この10年で、社会を取り巻く環境は大きく変化しました。人工知能(AI)をはじめとする急速な技術革新やグローバル化の一層の進展により、今後ますます予測困難な時代となります。昨年は新型コロナの影響で1か月半に及ぶ臨時休業という今まで誰も経験したことのない状況もありました。

これから先の社会を支えていくのは、皆さんです。一度しかない高校生活を充実したものにするとともに、自らの目標に向かって一步一步着実に進んでいってください。時には立ち止まったり、回り道をしたりすることがあってもいいと思います。先輩の一人として、後輩の皆さんの活躍に期待しています。世界の人たれ! 北高生!

国語 杠 潤 先生

2年間という短い間でしたが大変お世話になりました。北高で、勉強や部活動、生徒会活動などに意欲的に取り組む生徒の皆さんの姿がとても印象に残っています。高校の3年間は人生の中でも特に濃密な期間であると思っています。今、当たり前のように毎日顔を合わせている友人や家族、先生、地域の方々ですが、高校を卒業するとそれが当たり前ではなくなります。周りの人と協力したり、支えてもらったりして様々なことに挑戦する機会があるのも高校生の特権です。ぜひ、今だからこそできることに対して、一心不乱に取り組んでほしいと思います。数年後の自分自身に、「いい高校生活だった」と振り返ってもらえるように毎日を大切に過ごしてください。今まで本当にありがとうございました。

国語 景山 奈那美 先生

1年間という短い時間でしたが、お世話になりました。母校の北高で働き、どんなことにも一生懸命取り組む北高生とふれあうことができ嬉しかったです。北高生の強みは「頑張る続けること」だと思います。自分で選んで決めた道でも、楽しいことばかりではなく、辛いことや苦しいことが必ずあります。それでも逃げ出さず、「頑張る」ことを「続ける」ことは、みなさんの背中を押す自信になります。積み上げてきたものを信じ、「なりたい自分」に向かって一步一步進んでください。これからも北高生のみなさんのことを応援しています。今までありがとうございました。

地歴・公民 田村 高祐 先生

1年間お世話になりました。当初は、自分が松江北高校に来るなど想定していなかったのが、緊張と不安に襲われていたが、多くの皆さんの助けを借りながら1年を過ごすことができ、また自分の成長も少しながら感じているところです。

また一方で、生来の適当さ加減を発揮して、関わっていただいた先生方や生徒の皆さんには迷惑をかけたり、困らせてしまったことも多々あったと思います。日々反省でございます。

このメッセージ書きながらも1年間の自分を振り返り、あれが良かった・これが悪かった・あれを感じた・これを感じたと振り返り、来年はどうしようかとリフレクションをしています。皆さんも日々の振り返りを大切に、成長につなげてください。

数学・情報 内田 勇貴 先生

スーツを着続けた4年間でした。大学を卒業してすぐこの松江北高校で勤めることになったときには重責を感じました。スーツを着ていないと高校生に間違われるような自分が教えられるのだろうか。勉強熱心な北高生と過ごした4年間で少しは社会人らしい顔つきになったと信じています。粗品ではなく…。

楽しいことが多かった4年間でした。何も分からないパドミントン部顧問として初心者生徒たちと試行錯誤した日々。専門のソフトテニスで熱い生徒たちとインターハイを目指した日々。情報も教えることで全学年の生徒と関わったこと。3年間持ち上がりで担任をさせてもらい、卒業生を送り出したこと。すべてが良い思い出であり、学びになりました。

担任をしたクラスや部活動の保護者の皆様から温かい声をかけていただき、拙いながらも職務を全うすることができました。本当にありがとうございました。次の学校でも頑張ります!

数学 澄川 博之 先生

授業、掃除、部活動等いろいろな場面で北高生と関わっていった中で、特に印象に残っているのは私が話しかけると笑顔で返してくれる北高生が多かったように思います。笑顔で話すことは周りの状況を明るくしてくれます。北高生の笑顔で「今日も一日頑張るぞ!」という気持ちになりました。

北高生の皆さん、北高の先生方、保護者の皆様と出会ったことは私にとって「仕合わせ」(運命の出会い)だったように感じています。この「仕合わせ」を大切にしながら今後も頑張っていきます。私の人生のちょうど4分の1を松江で過ごしていますが、そのうちの2年間松江北高校で勤務することができて非常に幸せでした。ありがとうございました。

化学 岡本 暁 先生

松江北高校に赴任して3年間という短い期間でしたがお世話になりました。皆さんの化学に対する探究心に感心させられました。そして何より興味をもって分かろうと授業を聞いてくれてありがとう。皆さんが書いてくれる授業評価に何度も救われました。これからも化学の面白さにどっぷりとハマってくれることに期待しています。

野球部のみんな、君たちと野球をするのが本当に楽しみでした。うまくなろうと一生懸命練習する姿に、もっとノックを打ってやろうという思いにさせてくれました。君たちと甲子園に行けなかったことが心残りやけど、転動先の学校で野球部の顧問に就くことができたなら、君たちには負けたいチームをつくりたいと思います。君たちと球場で会うのを楽しみにしています。がんばれ、君たち、そして西尾監督を甲子園に再び!!

生物 廣田 達也 先生

8年間の北高勤務の中で一番思い出に残っているのは、科学の甲子園全国大会に参加したこと。科学の甲子園では、全国に名だたる高校の代表生徒たちと互角に渡り合う北高生の姿に、本当に勇気をもらいました。また、そんな生徒たちが他県の生徒たちとすぐに仲良くなり、宿舎で徹夜で遊んでいた姿には、遅さ、頼もしさを覚えました。才能にあふれ、一生懸命に努力する北高生と素晴らしい先生方に出会えたおかげで、この8年間で数え切れない多くのことを学ぶことができました。ありがとうございました。

英語 福井 亜希子 先生

2021年3月2日、卒業式。3年生の皆さんが体育館に入場する姿を見て、1歳の娘の歩く姿が臉に浮かびました。まだおぼつかない足取りなので、手を繋いで歩くことが多いのですが、いつかは握った手を離す日が来るのです。教員としていつも思うのは、生徒の皆さんには、自立した学習者になってほしいということです。1年生の皆さんの学年末試験直しノートを読みながら、この1年の成長ぶりを嬉しく思いました。入学当初に伝えたことをしっかり受け止め、自分のやり方を確立させていました。手を離すときが、来たようです。4月から頑張ってくださいね。北高で出会ったすべての皆様、6年間大変お世話になりました。皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

英語 佐々岡 千波 先生

4年間あっという間でした。北高に勤めることが決まったとき、学校の周りを車でドライブしたのを思い出します。この4年間で、私が教えることができたことはほんの少ししかありません。それ以上のことを、北高生や教職員の皆さん、そして保護者の方々から教えていただきました。ありがとうございました!

養護 古藤 克弥 先生

1年間でしたが母校で勤務することができて、とても勉強になりました。

私はポート部に所属していたので、放課後の学校の風景をみることはあまりなかったのですが、グラウンドや体育館、各教室から聞こえてくる声や音、遅くまで学校に残り学習に取り組む皆さんをどこか懐かしく感じました。

この学校で皆さんが真剣に行事や勉強に取り組む姿をみると自分も学生の時にいろいろなことに本気で取り組みれば良かったと感じます。何事も行動して初めて経験することができます。行動せずに後悔すると取り戻すことができません。行動して失敗しても、次回に経験として生かすことができます。これからも皆さんがいろいろなことにチャレンジしていきたくさんの事を経験して欲しいと思います。

ただし、健康第一で頑張ってください。

事務 前田 京子 さん

2年間お世話になりました。事務室にいても、時々聞こえる生徒の皆さんの声に心洗われ、楽しく勤務させていただきました。

赴任当初は双松の生育が気になり毎日のように確認していましたが、今ではしっかり根付いた姿に誇らしさも感じ、安心してその姿を眺められるようになっていました。また、皆さんが学びやすい居心地の良い環境整備に努めましたが要望になかなか追いつけず申し訳なくも思っています。

これからは北高応援団の1人として皆さんの将来を応援しています。文武両道・質実剛健!ご健闘を祈ります。

学校司書 福井 洋子 さん

今年の1月に、心理学で著名な大学教授の学校司書へ向けたお話を聞く機会がありました。その中に、「思春期は、子どもから大人へとこの世で生きている意味を書き換える作業を行っているので、この世とは違う世界の物語が必要だ。そして思春期の苦しさや現代の生き難さを踏まえた上で、図書館とは知識と物語が詰まっている具体的な場所である。」という言葉がありました。

北高図書館では、生徒の皆さんの発想や感性に伝える本、また進路実現のために必要な本を調べ探し、集めてきました。困った時、悩んだ時、言葉に出来ないもやもやを抱えて苦しい時、皆さんの居場所に図書館があり、生きていくことの意味を書き換える強い味方になる本がここにあることを心に留めておいてください。北高を離れても、ずっと応援しています。

事務 山本 晴菜 さん

事務室での勤務は、生徒の皆さんと直接関わることの少ない仕事でしたが、皆さんが勉強や部活を熱心に取り組む姿を見て、私も頑張ろう!と日々思っていました。

3年間という短い期間でしたが、様々な経験をさせていただき、楽しく勤務ができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。社会人になって初めての勤務地が北高でほんとうによかったなと思っています。3年間大変お世話になりました。みなさまのご健康とご多幸を心からお祈りしております。